

平成28年度公共事業事後評価調書

1. 事業説明シート(1)

(区分) **国補** 県単

事業名	畑地帯総合整備事業(国補)		事業箇所	北杜市明野町		地区名	明野	事業主体	山梨県	
(1)事業着手年度	H4年度	(2)事業期間	H4年度~H23年度		(3)完了後経過年数	5年	(4)総事業費	4,868百万円		
(5)事業着手時点の課題・背景						(8)事業位置図等				
<p>茅ヶ岳山麓に広がる北杜市明野町は古くから農業を基幹産業としていたが、養蚕の衰退に伴い農業生産所得が減少傾向をたどっていたことから、新しい農業を展開し農業経営の高度化・安定化を図る必要があった。また、農業用水は天水に依存しているため、度々干ばつの被害を受けていた。</p> <p>このため塩川ダムから安定的に良質な農業用水の供給が可能になる「畑地かんがい施設」や農業経営の近代化や労働力の軽減が可能となる「区画整理」を実施し、高品質な作物の栽培や高収益な農業経営に取り組むことを目的とし本事業を実施した。</p>										
<p>(事前評価未実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標 農業生産力の向上</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 農業用排水能力の向上</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 農地の保全</p>										
(7)整備内容(目標達成の方法)										
事業量	畑地かんがい(用水) A=270ha		区画整理		A=142ha					

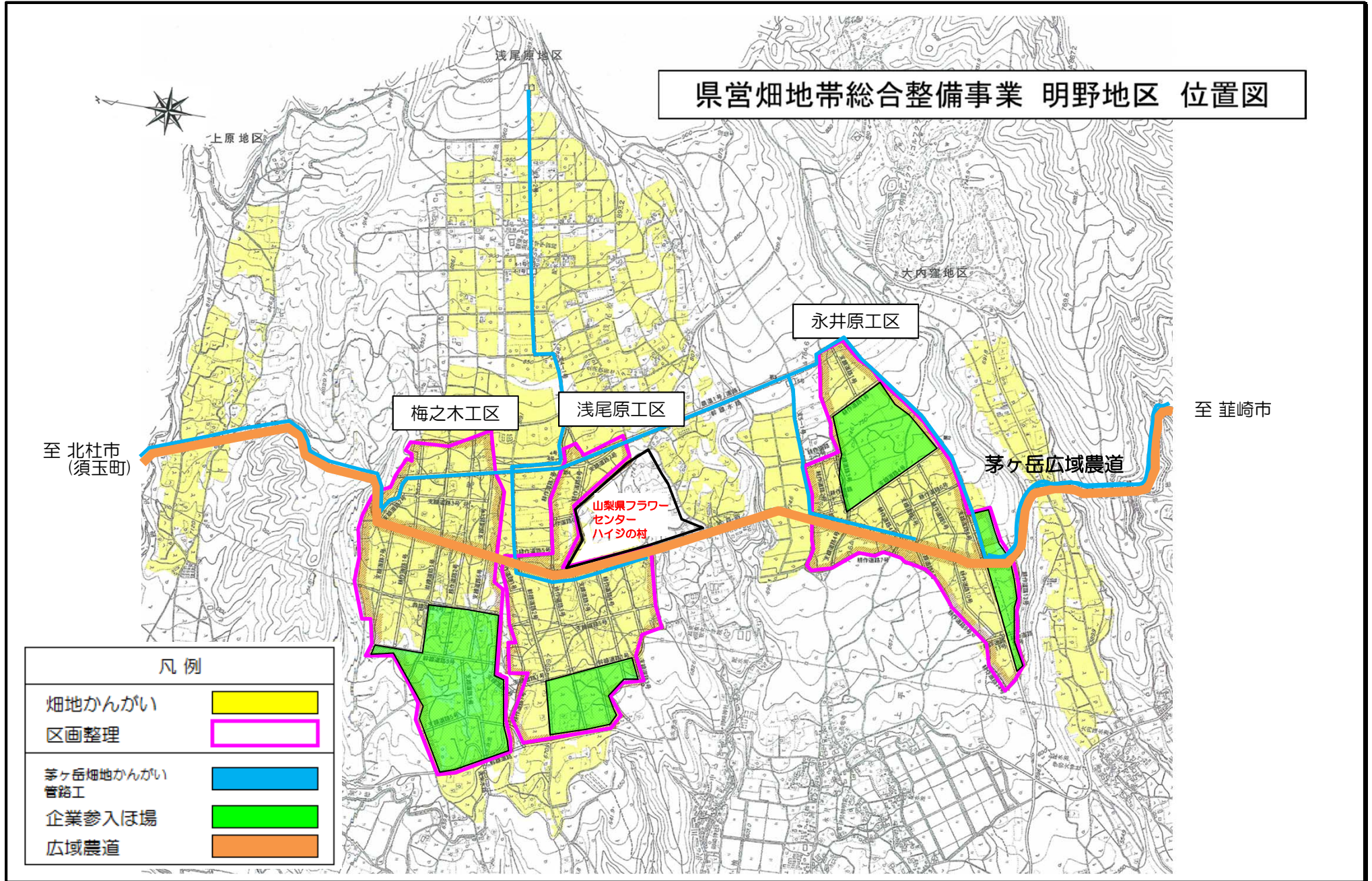
2. 評価シート（1）

<p>(1) 事業貢献度 < (良) ・ 不良 ></p> <p>(理由) 安定した農業用水の供給により畑地・樹園地が潤され、同時に大區画な畑地の整備や桑園から普通畑や樹園地への転換がなされたことにより、大規模な営農団地が形成されている。</p> <p>① 主要目標 農業生産力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積当たり農業所得増加額</td> <td>2,134千円/ha ※1</td> <td>2,750千円/ha</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業所得の増加額が、評価基準値2,426千円/haを上回っている。 （養蚕から野菜や果樹への転換により、農業所得が増額となった。） <p>※1 着手時は評価基準値を設定していなかった。</p> <p>② 副次目標 農業用排水能力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設老朽度(残耐用年数)</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>用排水能力向上率</td> <td>—</td> <td>皆増 ※2</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設老朽度は、新設工事のため判定しない。 畑地かんがい施設の新設により、安定した用水の供給が可能となった。 ※2 畑地かんがい施設を新設したため、用排水能力向上率は皆増と表記した。 <p>③ 副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地の保全</td> <td>安定した農業用水の供給や区画整理などの生産基盤の整備により、優良農地が保全されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ その他の事業効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 団地化した区画整理により、大區画農地に農業生産法人等の新たな担い手が参入し地元雇用につながっている。 安定的に良質な農業用水の供給が可能になったことから、高品質な作物の栽培が可能となり、農家の営農意欲が高まっている。 	指標	着手時点数値等	評価時点数値	面積当たり農業所得増加額	2,134千円/ha ※1	2,750千円/ha	指標	着手時点数値等	評価時点数値	施設老朽度(残耐用年数)	—	—	用排水能力向上率	—	皆増 ※2	項目	内容	農地の保全	安定した農業用水の供給や区画整理などの生産基盤の整備により、優良農地が保全されている。	<p>(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 < 有 ・ 無 ></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>着手時点の計画</th> <th>事後評価時点の実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>3,780百万円</td> <td>4,868百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H4~H17</td> <td>H4~H23</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>6,508百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>6,747百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.04</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成18年度再々評価地区 総事業費 4,056百万円、工期H4~H22に見直し ※ B/Cは関連事業を含んで算定している。</p> <p>(要因変化の分析)</p> <ul style="list-style-type: none"> 総事業費： 区画整理工の排水施設及び埋蔵文化財調査費の増による総事業費の増 工期： 埋蔵文化財の発見・調査の影響による工期の延長 <p>(3) 事業実施による環境の変化</p> <p>① 自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 基盤整備を進めたことで、耕作放棄地の発生防止につながり、地域の良好な農村景観が保たれている。 <p>② 生活・居住環境等への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> 区画整理の整備により、浅尾ダイコンまつりやサンフラワーフェスなどの各種イベントが開催され、当地区には年間約50万人の来訪者があるなど都市住民との交流が図られている。 <p>③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響</p> <p>① 社会経済状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>② 関連計画・関連事業の状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>③ 事業環境等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 	項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	3,780百万円	4,868百万円	工期	H4~H17	H4~H23	経済効率性	費用	6,508百万円	便益	6,747百万円	B/C	1.04
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																		
面積当たり農業所得増加額	2,134千円/ha ※1	2,750千円/ha																																		
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																		
施設老朽度(残耐用年数)	—	—																																		
用排水能力向上率	—	皆増 ※2																																		
項目	内容																																			
農地の保全	安定した農業用水の供給や区画整理などの生産基盤の整備により、優良農地が保全されている。																																			
項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																		
総事業費	3,780百万円	4,868百万円																																		
工期	H4~H17	H4~H23																																		
経済効率性	費用	6,508百万円																																		
	便益	6,747百万円																																		
	B/C	1.04																																		

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該事業により整備された畑地かんがい施設により農業用水の安定供給がなされ、高品質な農産物が生産されている。 また、大規模区画整理により企業参入による地元雇用が創出されるとともに、地区内ではイベントによる都市農村交流が盛んに行われるなど、多くの効果が発現されていることから、今後の事後評価は必要ないと思われる。 <p>□「有」の場合の実施時期及び方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期： 年度 ・ 方法： 	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし 	<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(具体的反映策)</p> <ul style="list-style-type: none"> なし <p>(9) その他特筆すべき事項 〈 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 北杜市では企業の農業参入が進んでおり、特に明野地区を核とした参入法人が「北杜市農業企業コンソーシアム」を設立し、6次産業化や地域活性化へ取り組むなど相乗効果が生まれている。 区画整理された農地を利用して、各種の農業イベントが開催され、都市農村交流が活発化している。

3.添付資料シート（1）



畑地かんがい施設（末端配水施設）による散水状況

スプリンクラーによる灌水



パイプによるドリップ灌水

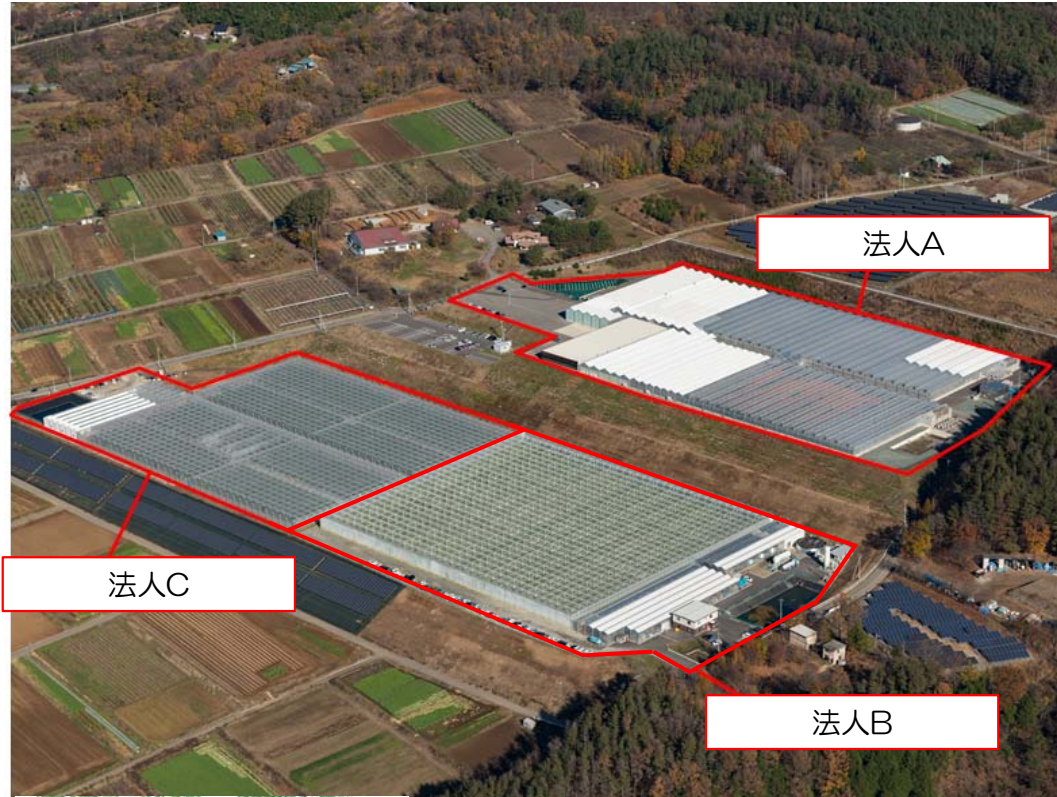


地域給水栓による灌水



- 団地化した大区画農地に農業生産法人等の新たな担い手が参入し、地域内の農業が活性化された。
- 日照時間が日本有数の山梨県・北杜市（明野町）の地の利を活かした農業で全国の注目を浴びている。

永井原工区



梅之木工区



農業生産法人による醸造用ぶどう栽培

北杜市農業企業コンソーシアム



参入した農業法人が「農業企業コンソーシアム」を設立。加工・流通・販売にノウハウを有する各企業同士で構築したネットワークを活かし、農業の6次産業化や地域活性化に取り組む。



農業生産法人による野菜の施設栽培（トマト）

J Aや地元農家との連携により雇用促進が図られ、地域の活性化につながっている。

区画整理されたほ場の一部では、各種イベントが開催され都市住民との交流が行われている。

浅尾原工区

浅尾ダイコンまつり



サンフラワーフェス



コスモス畑によるイベント開催



ジャガイモ掘り体験



